

台風4号・6号

災害発生日●平成16年6月10日～22日
 主な被災地●中部・近畿・四国地方

季節はずれの大型台風襲来 すべてはここから始まった

2004年は台風の当たり年といえるような年になったが、それを予感させるかのように早々と6月に襲来したのが台風4号と台風6号だ。

いずれも強い勢力を持ち、中部・近畿・四国地方を中心に、本格的な夏を迎える前の日本に被害を与えた。

人的被害は死者2人、行方不明者3人、負傷者117人。

住家被害は全壊1棟、半壊5棟、一部破損168棟。



50年ぶりに 6月の四国に2個上陸

2004年の一年間で日本に上陸した台風は10個を数え、各地で大雨や強風、土砂災害をもたらした。台風ラッシュの前触れとなったのが、6月に日本に上陸した台風4号、台風6号である。四国で6月に2個の台風が上陸したのは、記録の残っている限りでは1951年以来のことだ。

台風4号は、沖縄県を経て6月11日に高知県室戸市に上陸した。室戸沖で最大瞬間風速は39.1m。上陸後すぐに温帯低気圧に変わ

ったが、土砂崩壊、飛行機の欠航や列車の徐行運転など、交通機関などにも影響を与えた。

6月20日に上陸し、「夏至台風」と呼ばれた台風6号はさらに強く、最大瞬間風速は高知県足摺岬で36.9m、室戸岬で57.1m。いずれも6月の観測史上最大となった。高知県内の7河川8箇所警戒水位を突破、高知市など9市町村で700戸が停電した。

四国は各県で国道や県道での通行止めを余儀なくされた。徳島県海南町では山腹が崩れて県道が通行止めとなり、60世帯120人が孤立状態となった。また列車やバスの運休、飛行機やフェリーの欠航が相次いだ。

徳島県鳴門市では、強風にあおられて走行中のトラックやトレーラーが横転したほか、香川県立大川体育館では屋根がはがれて飛んだ。

翌21日には兵庫県に上陸し、被害は近畿地方にも及んだ。滋賀県近江八幡市では、突風で飛ばされた縦約10m、横約50mのホテルの屋根が新幹線の架線に乗り、電線4本を切断した。これによって米原駅-京都駅間の送電が止まり、上下線ともに運行不能になった。



▲防波堤を乗り越える台風6号の高波（和歌山県串本町）〔写真提供／読売新聞社〕



▲台風6号の強風で飛んだホテルの屋根が新幹線の架線に乗り、電線4本を切断した（滋賀県）〔写真提供／読売新聞社〕